

ニ用弁ル事ヲ吾々ニ教ヘマス、又天然ノ倉庫ヲ開キテ吾々ニ新元素新事實新財源ヲ示シマス、此ク勞力ヲ省キ材料ヲ清純ニシマス、又吾々ノ暗夜ヲ照シ又ハ病体ノ苦痛ヲ治療シマス、又ハ吾々ニ真理ノ研究ヲ示シマス、

借私ハ今迄電氣ノ一般ヲ諸君ニ話シマシタガ電氣ハ吾々皇陛下ノ即位ト全時ニ其水門ヲ開キマシテ今日迄技術者ノ開墾シタル田地ヘ灌漑ヲシテ居リマス、電氣學ハ今ハ一ノ専門科ニ過ギマセヌモ近キ内ニ一般ノ學門トナリマス、其事實條理學理實地ハ皆總テノ技術者ノ織緯トナリマシヤウ、故ニ如何ナル技術者モ電氣ヲ知ラチバナリマセヌ、電氣ハ最モ一般ニ最モ要用ニナリマシヤウ、又勢力ノ原則ヲ人間社會ノ必要ト幸福トニ應用スル最モ緊要ナルモノトナルニ相違アリマセン、

○ニカラグア兩洋連絡運河ノ實測

ニカラグア兩洋連絡運河ノ開鑿築造ノ尼加拉瓦

共和國ニ取リテ必要工事タルコトハ言フヲ埃タス其世界貿易業ニ大關係ヲ有スルコトハ識者ヲ埃チテ後知ラサル所ナリ左表ニ示ス計數ハ費府博物館ノ報告ニ係リ同運河設計ノ實數ヲ擧ケテ趣味アリトス

兩洋間距離	一六九哩四	運河開鑿延長	二六哩八	溜池延長	二一哩六
サンヨニアン河 延長	六四哩五	ニカラグア湖 延長	五六哩五	水閘ノ數	六所
運河中海面ヲ拔 ク最高處	一一〇呎	運河ノ深	三〇呎	運河通過時間	二八時

○北米合衆國鐵道敷設

同國ニ於ケル鐵道敷設事業ハ千八百九十三年以來頓ニ萎縮シテ

運河築造費豫算一三、二〇〇、〇〇〇磅乃至一七六〇〇、〇〇〇磅